大阪府堺市保健医療協議会　第1回　医療部会　議事概要

日時：平成２９年９月１３日（水）１４:００～１６：００

場所：堺市役所　本館　地下１階　大会議室（東）

■議題１　「今年度の会議の進め方について」

■議題２　「救急病院等に関する（新規・追加・更新）について」

■議題３　「第6次大阪府保健医療計画（府域版）の評価及び第7次計画の概要について」

■議題４　「第6次大阪府保健医療計画（圏域版）の評価について」

■議題５　「その他」

（主な質問・意見等）

　　　○救急告示病院は、消防からの救急の要請に対し円滑に受け入れるべきである。

　　　○高齢化社会になってくると、救急要請がより多くなっていく。病院救急車をいかに利用するかということが、他の自治体の課題となっているというような話もある。

　　　○精神疾患については、今まで大阪府全域だったのが、2次医療圏ごとに変わったのはなぜか。

　　　○一般精神医療については、2次医療圏の枠内に閉じ込めていくのはかなり難しい。広範囲からの患者が通院、入院されている現実がある。

　　　○医療部会が意見を求められるのは、大阪府のパブコメに持っていく手前の段階になると思うが、会議の時間内に検証するのは難しいと思う。

　　　○疾病予防に関するところの評価については、この数値で評価されても良いものなのか。少なくとも大阪府を下回っているところは、計画を進めるに当たって大きな課題があるという前提で、第7次計画を進めていく必要があるのではないか。

　　　〇第７次計画では、２次医療圏で医療を完結するというように、２次医療圏の重みが出ている。２次医療圏にも評価指標の設定が義務付けるとまでいかないが、必要ではないか。

　　　〇救急医療の評価は、どちらかと言えば病院連携救急に重きを置いているが、病院間の連携の救急だけではなく、病院の中での救急医療という所を評価しても良いと感じた。

　　　〇外国人に関する医療も重要になってくる。日本の滞在期間を満たしていれば、健康保険の資格が得られ、自国では受けられない医療を、日本で受診し、受診後は帰国する。そういう問題も増えてくるのではないか。

　　　〇救急搬送には、多くの高齢者も含まれており、受入後、どのように退院につなげていくかも考えていかないと、受入ベッドが足らないという状況になるため、介護等どのように連携していくかということも課題であり、それについては、地域包括ケアシステムの中で解決すべき問題かもしれないが、高齢者の救急対応が増えていくことが予想されるなか、地域の中でのディスポジションがないと、救急医療機関は疲弊すると思う。これは７次計画で考えてもらいたい。

　　　〇災害時の治療継続計画が策定されているかということが問題であり、診療をどうやって継続するのか、他の医療機関や行政、企業との連携を含めた事業計画の中で、各病院間や様々な分野との連携が必要だと感じている。

　　　〇概ね計画どおりという判断は、行政上では仕方ないかもしれないが、医学的、統計的に見ると納得し難いと感じる。

**（主な大阪府及び堺市の回答）**

○期間は限られているが、事務局としては出来るだけ早い段階で委員の皆さまにご意見を伺うやり取りをさせていただこうと考えているので、ご協力よろしくお願いする。

〇圏域版の目標値は設定されていない状況であるので、数値の変化、これまでの経過や取り組み状況といったところを判断材料として、概ね計画どおりとさせていただいている。

　　　〇２次医療圏単位における目標値設定については、大阪府で持ち帰らせていただく。

　　　〇認知症に関しては、認知症や精神疾患等の関係部署が連携しながら取り組む。

以　上